



Rotary 

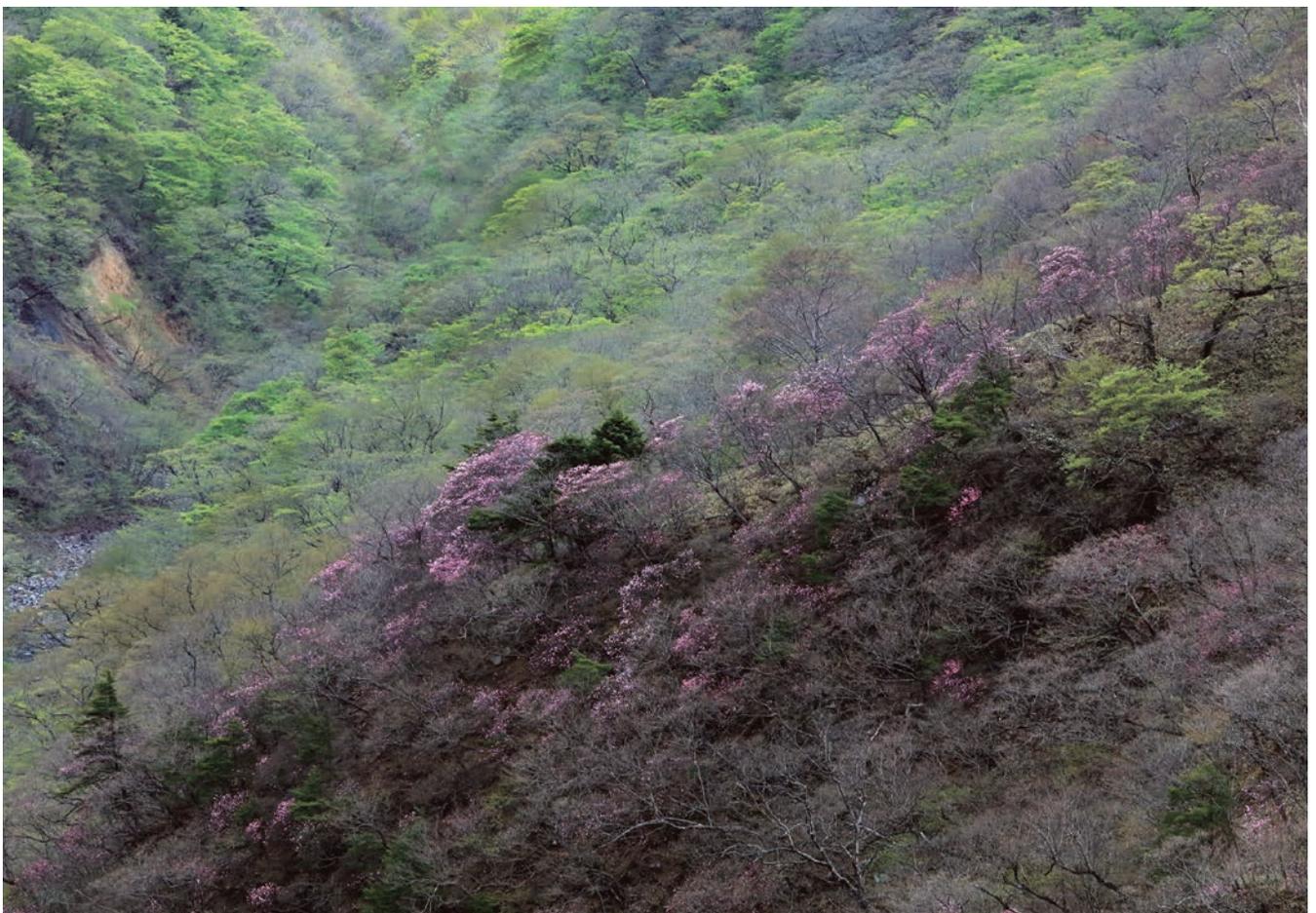
2017-2018
Vol. **11**

ロータリー：変化をもたらす

Governor's Monthly Letter

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

国際ロータリー第 2550 地区 ガバナー月信 5月号 May



『ヤシオツツジ咲く霧降高原の春』

Contents

■ ロータリーの目的	2	■ ロータリーコーディネーターニュース	9
■ ガバナーメッセージ	3	■ ハイライトよねやまVol.216・台湾地震義援金報告 ..	10
■ 青少年奉仕月間に因んで	4	■ 新会員紹介	11
■ IM報告 (第8グループ)	5	■ 文庫通信・地区内主要行事	11
■ クラブ訪問 (鹿沼ロータリークラブ)	6	■ 会員数現況報告・表紙説明・物故会員	12
■ IM報告 (第2グループ)	8		

Rotary

ロータリーの目的

The Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2** 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3** ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4** 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

The 4-WAY TEST

言動はこれに照らしてから

- 1. 真実かどうか？**
ex.顧客に対し、最良の品質・最良の技術を提供しているか？
- 2. みんなに公平か？**
ex.従業員に対し、安全で快適な職場を提供しているか？
- 3. 好意と友情を深めるか？**
ex.業界において公正かつ誠実であり、同業者とともに手を携え、職業倫理の高揚に努めているか？
- 4. みんなのためになるかどうか？**
ex.納入業者に対し、公正で友好的な関係を築いているか？

言行はこれに照らしてから行うべし



ガバナーメッセージ



「青少年奉仕月間」によせて

国際ロータリー第2550地区
2017-18年度 ガバナー

太 城 敏 之 (宇都宮東RC)

**18歳成人で若い力が重視される時代に。
一丸となりローターアクトクラブの設立を**

現在、わが国において「少子高齢化」や「人口減少」が社会問題化しているのはみなさん方もご存じの通りです。その一方で、政治・経済・文化などあらゆる面で将来の日本社会を引っ張っていく若い力は欠かせず、若年層への期待はますます高まっています。

こうした時代の流れの中で私たち大人が考えなければならないのは、若い人それぞれが自身の力を存分に発揮できるような活躍の場を与えることではないでしょうか。そこには「適材適所」とでもいうべき人材活用の視点が欠かせません。

今年3月、日本政府が成人年齢を20歳から18歳に引き下げる民法改正案を閣議決定したことは記憶に新しい出来事だと思います。これをわれわれロータリークラブに置き換えると、18歳はまさにインターアクトクラブ(12歳～18歳)とローターアクトクラブ(18歳～30歳)の境目ともいえる年齢です。

どちらも将来のロータリアンを育成するために欠くことのできない取り組みであることから、2017-18年度の第2550地区においては特に、ロータリー米山記念奨学会で支援を行っている大学を中心にローターアクトクラブの設立を積極的に呼びかけてきました。

この話は月信3月号のガバナーメッセージでもくわしく触れましたが、5月の「青少年奉仕月間」によせて改めて、第1～第9までのグループ単位で青少年奉仕委員会の方々が音頭を取り、会員一丸となってローターアクトクラブの設立に取り組んでいただきたいと思います。

**将来のロータリアンを「育てる」視点で、
地元を目標とした支援活動をより活発に**

青少年奉仕の視点で第2550地区における活動を振り返ってみたいと思います。

各クラブごと、あるいはグループ単位でインターアクトクラブやローターアクトクラブの活動を支援していると思いますが、クラブによってはその支援が資金援助だけに終わっていませんか？ 例えば、親御さんがわが子を教育するのと同じように、親クラブが親身になってインターアクターやローターアクターを育てるという姿勢が肝心です。

社会奉仕活動を一緒に行い、ともに汗を流すことから相互理解が生まれ、世代間のコミュニケーションが深まります。地域の祭りや恒例イベントなどの協力・協賛においては、地域のロータリークラブがまちづくりの一翼を担っていることを知ってもらい良い機会にもなります。同時に、ローターアクトクラブの例会にも親クラブの代表として積極的に出席し、ボランティア活動の進め方や活動の意義などを若い人たちに教えることも重要です。

長年ロータリアンとして活動していると、ロータリー米山記念奨学会をはじめとするグローバルな奨学金を重視しがちですが、自分たちの足元(=地元)を見回すと、地域の若者のために資金を援助し、その活動をサポートする大切さを改めて感じます。



青少年奉仕、特にRYLAについて

社会奉仕部門
カウンセラー

梶木 秀 磨 (足利わたらせ)

ロータリー章典には青少年奉仕は、ロータリーが若い世代を重視している事を表している。それは青少年が、将来出現する課題を克服できるよう、ロータリアンとして青少年への奉仕、青少年の将来に対する奉仕、さらに人類全体の奉仕を通じて、様々なツールを提供しようと努力することである、と記述されております。

IA・RA・青少年交換、そしてRYLA等の小委員会はそれぞれに活動しておりますが、その垣根を取り払い広い視野で青少年奉仕を考える、クロスプロモーションという概念が生まれております。そのために、青少年の奉仕活動は活発になっております。昨年は那須岳で高校生の傷ましい事故が発生してしまいました。RIは、ロータリー活動に参加する全ての青少年のために、安全な環境作りの義務を求めており、色々な危険から青少年を守らなければなりません。さて、34地区合同の多地区合同青少年交換事業が昨年12月にRIは法人化を承認しました。そして、一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構(RIJYEM)が設立できました。目的は、青少年奉仕(IA・RA・RYLA)とロータリー青少年交換プログラムを通じて国際理解、親善、平和に貢献する、となっております。このことで、人格権特約付賠償責任保険に加入が出来ました。(三井住友海上火災保険株式会社)

1月28日、第10回全国RYLA研究会が神戸(第2680地区)で開催され、RYLAに関する基本的情報の講演がありました。分科会は、事例発表・学友会の設立・運営方法等で意見交換を行いました。結果、全国34地区中6地区でRYLAの開催はなく、開催期間は1泊2日が50%と多く、特徴的なのは、当地区の模擬国連の実施でした。そこでRYLAと模擬国連について述べてみます。RYLAは1959年オーストラリアのクイーンズランド州・創立100周年記念に、ブリスベンRCがイギ

リス王女と同年代の青年男女を集めて、社会教育プログラムを実施したのが発祥です。RYLAは(14歳～30歳)は地域社会の若い人々の指導力及び、市民としての資質や個人の能力を伸ばす事に、ロータリアンが直接関与出来る奉仕活動です。プログラムの内容と形式は、統一規格はありませんが、ロータリーの目的を鼓舞し、リーダーシップ向上の推進が奨励されています。

2012年(鈴木宏年度)より高校生と一般の若者達との2回に分けて開催しており、模擬国連を採用し「リーダーシップ」と「コミュニケーション」の理解と実践を行っております。模擬国連は、1983年上智大学教授の緒方貞子先生が大学に導入し、2009年、大学生が日本模擬国連を創設し、講師派遣を行っております。模擬国連は、国際連合の会議を模擬しております。参加者は担当国の大使となり、国の利害を代弁して交渉・議論を重ね、問題解決への合意形成を図ります。プログラムを通じてリーダーシップ能力を高めます。昨年の模擬国連のテーマは「サイバー攻撃」でした。どのようなサイバー攻撃を受けたのか、という情報開示が求められます。しかし、全ての情報を公開してしまうと、国家機密や他国には知られたくない事実もあります。特に資本主義国と社会主義国ではイデオロギーの問題もあり、合意形成に努力が必要となります。また、昨年12月、奇妙な高校生の母親から「当地区のHPで模擬国連の記事を見て、RYLAの活動に共感しました。」というメールを戴きました。大変嬉しいお話でしたので、皆様にお伝え致します。最後にロータリーの青少年プログラムは、私達の子孫や地域社会やロータリーへの未来への投資です。



IM (Intercity Meeting) 報告 第8グループ

第8グループIM

インターシティミーティング



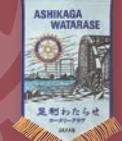
足利



足利東



足利西



足利わたらせ

ガバナー補佐 橋本 義彦 (足利)

ロータリー郷土と共にこれまでも、これからも。

3月17日に第8グループのIMが蓮沓館にて行われました。ホストクラブは足利ロータリークラブ。来賓として板橋敏雄元RI理事・パストガバナー (PG)、鈴木宏PG、栃木秀磨PG、源田俊昭次期ガバナー補佐にお越しを頂きご挨拶を頂戴致しました。

テーマは「ロータリー郷土と共にこれまでも、これからも」。足利RCの源流とも言える近代足利の経済人の功績を振り返りながら、郷土におけるロータリー活動の在り方について考察を深めていきたい、との思いからテーマを設定しました。

本会議では足利市内4クラブ会長の活発な活動報告、鈴木宏PGからは実際に訪ねたポールハリスの生誕地、またお墓の映像を見ながら創設時のお話を頂きました。新入会員セミナーは短時間になってしまいましたが、その後、足利RCが受入クラブとなっている1年交換留学生マリン・エリザベス・パワーズさんによる日本語スピーチが行われ、大きな拍手が送られました。

記念講演会では、大月康弘 一橋大学経済学部教授が「近代日本の経済発展と足利の人脈」と題して講演を行いました。明治、大正、昭和の3時代、繊維産業で隆盛を極めた足利。その隆盛の原動力となった地元経済人達の人物伝を軸にした内容で、足利から

幾多の人材が全国へ、全世界へ雄飛して郷土の発展に貢献し、やがて足利RCの設立に至る講演に会場は大きな感動に包まれました。



講演会後、懇親会が行われ、元TBSテレビ総務部長 宇都宮莊太郎氏率いるジャズバンド、語源はポルトガル語で「海の風」を意味する「ブリーザ・ヂ・マール」に華を添えて頂きました。南国リゾート風サウンドのボサノバ・ユニット。東京を拠点にライブ活動を行っており、キャリアを積んだ演奏に会場は感嘆の声で溢れました。

最後は大月教授、バンドメンバーを含め全員で「手到手つないで」を斉唱。柳田欣一郎会員による「足利締め」でお開きとなりました。「本物との出会い」を堪能した1日でした。(実行委員長：羅田秀顕)

グループクラブ
足利・足利東・足利西・足利わたらせ
4RC在籍会員数 (128人)



クラブ訪問(鹿沼ロータリークラブ)



会員増強にもつながるクラブの魅力づくり。 全国トップレベルの「実力」にさらなる磨きを

鹿沼ロータリークラブ

- ・ 創立年月日/1960年(昭和35年)1月23日・RI加盟承認年月日/1960年(昭和35年)2月13日
- ・ スポンサークラブ/栃木ロータリークラブ・正会員/60人(平均年齢58.9歳)
- ・ 例会場/福田屋百貨店3F(コンベンションホール)・例会日時/木曜日 12:30~

クラブ
訪問
【第2回】



入会式

歓迎の気持ちを表した新会員入会式

1960年(昭和35年)1月、栃木ロータリークラブをスポンサークラブに33名の会員で設立した鹿沼ロータリークラブは今年で創立58年を迎え、第2550地区においては老舗クラブの一つです。

平成29年度の会員増強目標は6人でしたが、今年2月に一挙に3人が入会して計5人に。この時点で正会員60人の大台を超えました。

会員は25歳~88歳まで幅広く、組織の平均年齢は58.9歳です。それぞれの世代がまんべんなく在籍し、理想的な年齢構成となっています。

鹿沼ロータリークラブで特徴的といえるのが、設立当初からの伝統を受け継ぎ、綿密な式次第に則った「新会員入会式」です。新会員の紹介にはじまり、歓迎のあいさつ、バッチ・名札の贈呈、祝辞、花束贈呈など一連のプログラムが厳かに、かつ、肅々と執り行われます。

本格的な式典に思わず緊張してしまう新会員も多いようですが、「歓迎」の気持ちが存分に表現されたセレモニーは末永く思い出に残り、退会者の防止にもひと役買っているとか。入会後は新会員1人につき既存

会員1人がカウンセラー(頼れる相談相手)を務め、クラブの運営に慣れるまでサポート役に徹します。



全国的にも注目される野球部の活躍

クラブの魅力づくりの一環であり、会員増強の視点からも注目されるのが「野球部」の活躍です。

全国ロータリークラブ野球大会では過去に優勝が1回、準優勝が2回。同選抜大会でも13回中、計8回優勝するなど輝かしい経歴を誇ります。第2550地区における最強チームと言っても過言ではありません。

中高や大学など学生時代に野球経験のある地元の若手経営者の中には、野球部の活躍に関心を持ってロータリークラブの門を叩くケースも少なくないとか。スポーツを通じて汗を流した仲間同士は、ロータリアンとしての結束も固いそうです。

鹿沼ロータリークラブでは他にも、ゴルフ同好会やカラオケ同好会など継続的な活動を通して会員同士の



クラブ訪問（鹿沼ロータリークラブ）

親睦を図っています。

現況報告書は後進のための道しるべ

もう一つ、特筆したいのは鹿沼ロータリークラブならではの『クラブ現況報告書』づくりです。そのスタンスは編集後記の一文に見て取れます。

「あとからくる者のために 苦勞するのだ 我慢をするのだ 田を耕し 種を用意しておくのだ」

この言葉はある詩の一節とのことですが、同クラブの現況報告書は現状把握だけでなく、「未来の会長・幹事に役立つために」との思いを込めてつくられています。

「未来」を視点に「今」という現状をありのまままとめた一冊は、必要十分な情報をわかりやすく、そして見や

すくまとめられています。特に「2016～2017 運営状況（理事会）」のまとめ方は参考にしたいところです。

誌面の編集内容に関しては代々のフォーマットに則っているようですが、時代や状況に合わせて細かな部分を適宜ブラッシュアップしながら、毎年編さんを重ねてきました。

昨年秋、他のクラブより鹿沼ロータリークラブの現況報告書を参考にしたいとの問い合わせが相次ぎ、急遽数十部を増刷したそうです。

今後はデジタル化ならびにペーパーレス化を検討しているようですが、「AI（人工知能）」や「IoT（モノのインターネット）」の進展で時代は大きく変わろうとも、「後進のための道しるべ」という編集方針はブレずに、代々受け継がれていくことでしょう。

【取材：ガバナー月信委員会】



IM (Intercity Meeting) 報告 第2グループ

第2グループIM

インターシティーミーティング



鳥山



氏家



矢板



馬頭小川



高根沢

ガバナー補佐 田島 良久 (馬頭小川)



3月18日(日)第2グループのIMが、那珂川町の南平台温泉ホテルで午後1時より登録、1時30分より80名あまりのロータリアンにご参集して頂き開催されました。今回のテーマは財団米山50周年のテーマと同じ「日本と世界を結ぶ人づくり」です。

齋藤正雄SAAの司会進行で、まず田島ガバナー補佐の点鐘、深澤寿実行委員長の開会の言葉、国歌・ロータリーソング斉唱、ホストである馬頭小川RCの高野徹也会長より歓迎の言葉に続き、那珂川町町長福島泰夫様より祝辞を頂きました。

ロータリー米山記念奨学会が本年度財団設立50周年に当たるのを期に、当地区のロータリー米山記念奨学会辻裕司委員長より記念講演をいただきました。米山記念奨学会のあゆみから始まり、事業の概要・財政寄付・奨学生選考・学友会そして、ロータリアンが一番関心を持っている国際問題まで、詳細にご説明頂きました。同行した元米山奨学生で台湾出身のシャオチーチンクー女史からは、奨学生になり学業に専念できた喜びと、自分の今の職業及び人生設計を見出してくれた事に対する感謝の話がありました。ロータリアンにとって、財団と米山は必須の2大事業ですが、「米

山は良く分からない?」、重鎮の方でも「知っているようで知らない、今さら恥ずかしくて聞けないよ」、という中での企画でした。

講演に続き、各クラブの米山委員長より意見発表・及び討論に入り、辻委員長・長正英次期米山委員長よりアドバイスを頂き討論会を閉じました。

続いて、次期ホストクラブの高根沢RC次期会長斉藤友紀雄様、次期ガバナー補佐阿久井敏男様より御挨拶いただきました。

記念撮影、氏家RCの新入会員鉢村悦男さんにバッジの贈呈、自己紹介の後、白相淑久地区委員長の司会にて、馬頭小川RC岩永喜博米山委員長より那珂川町名産の日本酒での乾杯で懇親会が始まりました。

もうひとつの名産品の「温泉トラフグ」が各テーブルに提供され、皆さん舌鼓みを打ってご満悦!の中で情報交換並びに懇親を深め、結びに「手に手つないで」合唱の後、散会となりました。

グループクラブ

鳥山・氏家・矢板・馬頭小川・高根沢

5RC在籍会員数 (94人)





Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2018年5月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
第3ゾーン担当

■「時勢は人を作る(勝海舟:氷川清話)」

今年の国際協議会に出席されたガバナーエレクトの皆様には研修を終えられて新たな気持ちでガバナー年度に備えておられるものと思います。

来年度のラシン会長のテーマは「インスピレーションになろう」であります。今年度のライズリー会長の「ロータリー：変化をもたらす」のテーマの延長線上のテーマではないでしょうか。しかし、インスピレーションをどのようにロータリアンに理解してもらうことができるかが難題であろうかと考えます。

私は「時勢は人を作る(勝海舟:氷川清話)」という言葉が、ラシン会長の意図するところではないかと考えます。ロータリアンがロータリーの意義を社会に理解してもらうために、若者を巻き込んで共に行動を起こすことが求められています。時勢を見失ってはなりません。

先日の日台親善会議に出席された方も多いと思いますが、台湾、韓国そして日本に見られる東洋的な考え方と欧米諸国の考え方に違いがあるように思われますが、目指す理念は同じであると思います。

国際ロータリー 理事 石黒慶一

■「地域社会を変える行動人」

「世界を変える行動人」について、皆様は昨年来RIから発信されてくる数多くのパンフや写真をご覧になっていらっしゃるかと思います。「世界を変える行動人ロータリアン」の様子を一般社会へ伝えることは、ロータリーの公共イメージ向上という観点から大事なことであります。

一方、各クラブと地区にとって重要なことは、ロータリアンがそれぞれの「地域社会」で世の為、人の為に日々活動していることを地元の人々に先ずよくご理解頂くことです。「世界を変える行動人」はその延長線上にあります。原点となる「地域社会を変える行動人」は皆様方のそれぞれのクラブや地区にいらっしゃいます。



来たれ学友中心の若者の集い
坂出東四国ロータリー衛星クラブ
入会金1万円・年会費7万円
衛星クラブ議長

3月末東京で開かれました「会員基盤向上セミナー」で「地域社会を変える行動人」のお一人として、四国地域を中心にカバーする「坂出東四国ロータリー衛星クラブ」をこの度立ち上げられました2670地区直前ガバナーのARPIC前田直俊さんを紹介致しました。この新クラブは学友を中心に、現代社会の多様な入会候補者のニーズを汲み取ることが出来る会員構成で設立準備を進められました。

日本全体の会員純増率は、過去5年間のDataでは、ほぼ+/-ゼロに近い数字であり、40歳以下の会員数は僅か1%ほどです。今後の5年間は、会員の高齢化が更に進み、既存クラブでの純増は極めて難しい状況が続くと思われます。従いまして会員数の伸び余地が残されているのは、クラブ運営を多様化した「衛星クラブ」や「新型クラブ」ということになりそうです。その様なクラブが増えて行きますと、既存クラブの運営も次第に変化して行くのではないのでしょうか。日本では女性会員の入会が1989年に可能になってから30年近くが経過しやっとなら6%を占めるようになりました。

日本は変革に時間が掛かる国ですが、私達の工夫と努力次第で国際水準への到達は可能と前向きに捉えて行きましょう。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄

■「ロータリー活動の実働部隊はクラブ会員である」

言うまでもないことですが、ロータリー活動の具体的実働部隊はクラブの会員であり、その直接のリーダーがクラブ会長です。クラブの会長がやる気を起こさなければ、如何にRI会長やガバナーが旗を振ってもどうにもならないし、逆にクラブ会長がやる気になればかなりの計画が実現します。そして、クラブ会長は地区ガバナーのやる気の強弱を感じて行動してくれる可能性があります。従って、ロータリー活動を活発化するためには、ガバナーが如何にしてクラブ会長にやる気を起こさせるかだと思います。

そのガバナーを支援するのがRI会長であり、私たちRI国内委員団だろうと思っています。ところが、例えば私は九州4地区担当のARCですが、私の所属する第2700地区の事情はある程度把握できているし、ガバナーに対しても具体的な支援が可能ですが、他の3地区については支援が限られます。そこで、今年度は主として自分の地区で会員増強に効果があるだろうと思われる方法について試行錯誤して、その効果をみて来年度からは他の3地区のガバナーにも具体的な方法で本格的に働きかけようと思っています。幸い今年度、第2700地区の安増ガバナーは5年間で会員を6%、つまり1年で1.2%の増強を目標にするという第一次5カ年計画を立てています。現在の会員増の勢いから見ると目標達成は簡単ではないと思われませんが、例年よりは多い会員増が期待され、6月末が待たれます。

話の次元は変わりますが、既存のクラブの会員増強も必要ですが、ロータリー活動の真の活性化には、従来型のクラブとは異なるクラブ運営に柔軟性を持った新しいタイプのクラブを新設して、奉仕の心と活発で実際の社会奉仕活動を好む若い世代の会員を増やすことが必要であり、このプロジェクトに取り組むリーダーを養成することが困難であるけれど極めて重要だと思います。女性に期待したいですね。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 穴井元昭

2017-18年度は
財団設立50周年

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース



ハイライトよねやま

2018.3.13

Vol.216

寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —

2月までの寄付金は前年同期と比べて4.7%増（普通寄付金：0.6%増、特別寄付金：7.1%増）、約5千万円の増加となりました。2月単月の寄付額も、この3年間で最も高い額となり、財団設立50周年の下半期は順調に推移してい

ます。多くのロータリアン、学友からのご支援に心より御礼申し上げます。今年度も残り3か月半となりました。今後ともご協力賜りますようお願いいたします。

マレーシア米山学友会総会

3月4日、マレーシア米山学友会（会長：黄麗容さん）の総会がペナンで開催されました。2016年9月の創立総会以来、初めての総会となり、学友17人のほか、日本在住の学友2人がスカイプで参加し、日本からは第2590地区前米山記念奨学委員長の高橋敏昭氏ご夫妻が参加しました。

総会は日本語で進行され、事業報告・会計報告がなされたほか、5月からは毎月の会合を再開するなどの活動計画が活発に話し合われました。創立時の会員21人から倍増し、現在は会員数58人。黄会長は、「創立時にも来て下さった高橋さんご夫妻に学友会としての成長を

見ていただけて嬉しい。首都クアラルンプールでも会合を増やし、養護施設訪問など奉仕活動も計画していきたい」と、今後のさらなる飛躍を誓いました。



台湾東部地震災害義援金送金報告

2月6日に発生した台湾東部地震は、花蓮市を中心に多くの死傷者と甚大な被害をもたらしました。復興のために地区内の会員の皆様へ、支援の為の呼びかけをいたしましたところ、災害義援金として各クラブ様より1,473,600円が集まりました。この浄財は4月6日にガバナー会へ送金させて頂きました。なお、地区内の3クラブからは、友好クラブへ直接送金して下さるとの連絡を

も頂戴しております。

皆様の温かいご協力に感謝し、ご報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

国際ロータリー第2550地区
地区幹事 入江 武（宇都宮東）



新会員紹介



とう へい やす のり
藤 平 泰 典

栃木南RC
藤平法律会計事務所
所長

平成29年9月1日入会

よろしく願いたします。



かた やなぎ ゆ か
片 柳 由 香

佐野東RC
有限会社片柳電設
取締役

平成29年10月1日入会

よろしく願致します。



ひげた きよし
日下田 喜義

真岡RC
栃木精工株式会社
相談役

平成29年12月6日入会

人道的な奉仕と貢献を推進するため、各方面の事業の指導者と連携を図りたい。



も ろ かず ゆき
茂 呂 和 幸

岩舟RC
株式会社茂呂造園
代表取締役

平成30年1月9日入会

入会させていただいたことを光栄に思います。宜しく願致します。



あ み つよし
阿 彌 強

足利RC
有限会社アサヒ葬儀社
代表取締役

平成30年2月1日入会

伝統あるロータリークラブに入会させて頂きありがとうございます。



すが や たか おみ
菅 谷 隆 臣

宇都宮RC
(株)エデュケーションブレイン
代表取締役

平成30年2月1日入会

亡祖父館野弘一ロータリアンの志を引き継ぎ、奉仕の理念を実践して参ります。



「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

[下記申込先：ロータリー文庫]

ロータリーの精神 文庫通信367号

ロータリーを語る	ロータリー復帰協議会	1948	45P	
奉仕こそ我がつとめ	小林雅一郎 訳	1956	143P	東京RC
そろばんと論語	塚本義隆	1974	60P	
はげすめ	安野謙次	1974	139P	
ロータリーの心得	ガイ・ガンデッカー著：田中毅訳		33P	
やさしいロータリーの話-間柄の美学-	佐藤千壽	1984	27P	
The Meaning of Rotary ロータリー解析	Vivian Carter著：田中毅訳	1999	99P	
ロータリーへの道 (三訂版)	ポール・ハリス著：柴田實訳	2011	372P	成田RC
「ロータリーの理想と友愛」読本	富田英壽 編 著	2016	274P	

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL03-3433-6456・FAX03-3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

地区内主要行事

2017-18年度：2018-19年度 地区内主要行事

2018年

月	日	内容	会場	主催
5月	6 日	宇都宮市内10ロータリークラブ親睦ゴルフ大会	宇都宮カンツリークラブ	ホスト：宇都宮さつきRC
	13 日	第44回ローターアクト地区年次大会	ニューミヤコホテル 別館	地区ローターアクトクラブ
	20 日	第23回地区親善野球大会 (10/22から順延になっていた振替)	河内総合運動公園内野球場	ホスト：宇都宮北RC
	27 日	第16回高校生RYLAセミナー	宇都宮文星女子高等学校	地区RYLA委員会
6月	7～11 木～月	青少年交換委員会2018年度海外視察研修	フランス イタリア	地区青少年交換委員会
	17 日	18-19年度第1回受入ホストクラブ カウンセラー研修会	宇都宮グランドホテル	地区青少年交換委員会
7月	17 日	米山2018年度第1回地区委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
	8 日	第1回諮問委員会	宇都宮グランドホテル	ガバナー事務所
	8 日	第1回地区運営委員会	宇都宮グランドホテル	ガバナー事務所
8月	22 日	18-19年度第2回受入ホストクラブ カウンセラー研修会	宇都宮グランドホテル	地区青少年交換委員会
	5 日	19-20年度一年交換学生 選考試験	宇都宮グランドホテル	地区青少年交換委員会
	17 金	18-19年度一年交換受入学生来日	成田空港着～ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
	18～20 土～月	18-19年度一年交換受入学生日本語勉強会	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
	19 日	18-19年度地区クラブ米山委員長会議	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
25～26 土～日	19-20年度派遣学生・18-19受入学生宿泊研修会	ニューサンピア栃木	地区青少年交換委員会	
26 日	ロータリーリーダーシップ研究会 (RLI) パートI	作新学院大学	地区RLI委員会	

会員数現況報告(3月分)

分区	クラブ名	会員数								
		7月1日	3月末	入会	退会	通算増	通算減	増減	うち40歳未満	内女性会員
第1グループ	大田原	25	27	0	0	2	0	2	0	1
	黒磯	37	36	0	0	1	2	-1	2	2
	西那須野	42	45	0	0	3	0	3	0	3
	黒羽	9	10	0	0	1	0	1	1	0
	那須	9	9	0	0	1	1	0	0	2
	塩原	8	8	0	0	0	0	0	0	3
	大田原中央	22	23	1	0	2	1	1	2	2
第2グループ	鳥山	15	16	0	0	1	0	1	0	2
	氏家	23	26	1	0	4	1	3	0	2
	矢板	14	13	0	0	1	2	-1	0	2
	馬頭小川	22	23	0	0	1	0	1	0	0
第3Aグループ	高根沢	15	16	0	0	1	0	1	0	0
	宇都宮	104	102	1	5	8	10	-2	2	1
	宇都宮西	78	82	1	1	5	1	4	3	0
	宇都宮北	48	50	1	0	3	1	2	1	0
	宇都宮90結(衛星)	8	10	0	0	4	2	2	2	5
	宇都宮陽北	31	33	0	0	2	0	2	2	3
	宇都宮東	116	123	0	0	10	3	7	2	0
第3Bグループ	宇都宮南	52	52	0	1	3	3	0	1	3
	宇都宮陽東	48	52	0	0	4	0	4	3	8
	宇都宮陽南	20	24	0	0	4	0	4	2	7
	宇都宮さき	23	26	1	0	4	1	3	3	3
	真岡	52	59	0	1	8	1	7	2	0
第4グループ	益子	34	34	0	0	2	2	0	0	3
	真岡西	36	36	0	0	1	1	0	2	5
	しもつけ	30	32	0	0	3	1	2	2	6

分区	クラブ名	会員数								
		7月1日	3月末	入会	退会	通算増	通算減	増減	うち40歳未満	内女性会員
第5グループ	小山	28	28	1	0	3	3	0	0	1
	小山南	20	18	0	0	0	2	-2	0	3
	小山東	24	25	0	0	1	0	1	0	0
第6グループ	小山北	20	20	0	0	1	1	0	2	0
	小山中央	28	27	0	0	0	1	-1	0	2
	栃木	45	47	0	0	3	1	2	0	2
	栃木西	26	29	0	0	3	0	3	0	1
	壬生	21	21	0	0	1	1	0	0	3
第7グループ	栃木南	34	36	0	0	2	0	2	0	9
	日光	22	23	0	0	1	0	1	0	6
	鹿沼	55	60	0	0	5	0	5	4	1
第8グループ	今市	39	42	0	0	3	0	3	0	0
	鹿沼東	34	35	0	0	2	1	1	1	3
	鹿沼あわの	7	6	0	0	2	3	-1	1	2
	鹿沼中央	21	20	0	0	0	1	-1	0	1
第9グループ	今市きぬ	26	28	0	0	2	0	2	0	0
	足利	33	36	0	0	4	1	3	2	0
	足利東	51	48	0	1	1	4	-3	1	6
第9グループ	足利西	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	30	31	0	0	1	0	1	0	0
	佐野	60	60	0	0	2	2	0	0	0
	葛生	35	37	0	0	3	1	2	0	0
	田沼	43	43	0	0	0	0	0	2	0
第9グループ	佐野東	21	22	0	0	1	0	1	0	3
	岩	10	12	0	0	2	0	2	0	0
51RC(衛星クラブ)		1710	1780	8	9	127	57	70	47	111



表紙写真

第6回「宇東写楽」写真展出品作品
『ヤシオツツジ咲く霧降高原の春』

撮影：伴 清(宇都宮東)

新緑の葉が萌え始まる頃、県の花「ヤシオツツジ」が霧降高原に咲き出します。渓谷の急峻な尾根に群生して咲くヤシオツツジは春の息吹を与えてくれます。花の群落に癒されながらこれからも咲き続けてくれることを願って霧降の渓谷を離れます。

物故会員

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます



物故 平成30年2月5日
享年 80歳

にしだ かず ゆき
西田 一之

【真岡西RC】

◆生年月日 昭和12年8月22日
◆入会年月日 平成3年10月2日

- ◆ロータリー歴 27年
クラブ
1996-1997年度 会長
地区役員
2000-2002年度 新世代奉仕ライラ委員

- ◆財団、米山奨学会などの寄付歴
ロータリー財団
PHF 3回
恒久基金寄付 1回
米山記念奨学会
米山功労者 3回



物故 平成30年3月8日
享年 80歳

いの う え ま き こ
井上 槿子

【日光RC】

◆生年月日 昭和12年3月16日
◆入会年月日 平成14年7月1日

- ◆ロータリー歴 15年
クラブ
2005-06年度 幹事
2006-07年度 副会長
2007-08年度 会長エレクト

- ◆財団、米山奨学会などの寄付歴
ロータリー財団
ベネファクター
PHF
米山記念奨学会
米山功労者



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142

宇都宮グランドホテル内

TEL.028-651-2550 FAX.028-651-2551

Email m2550@agate.plala.or.jp URL http://www.rid2550.com/